

京都府立医科大学附属北部医療センターで、肝疾患で通院中の患者様・ご家族の皆様へ

京都北部地域の慢性肝疾患患者の予後に関する検討に関する研究へのご協力 のお願い

今回、京都府立医科大学は、慢性肝疾患に関する研究「京都北部地域の慢性肝疾患患者の予後に関する検討」を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属北部医療センターで慢性C型肝炎などウイルス性肝炎や非アルコール性脂肪肝炎、アルコール性肝障害など慢性肝疾患の治療を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

京都北部地域は、京都府内ならびに全国的にみても高齢化が進んでいる地域です。ウイルス性肝炎や非アルコール性脂肪肝炎など慢性肝疾患患者さまの予後は、肝臓の線維化の程度に影響され、線維化が高度に進んだ場合は、肝発がんや心筋梗塞や脳卒中が高率には発症することが知られています。さらに年齢は、肝疾患や心筋梗塞や脳卒中の発症リスクを増加させます。そこで本研究では、北部地域における慢性肝疾患患者の肝線維化の程度、心筋梗塞や脳卒中のリスク、さらに肝臓、肝不全、心筋梗塞や脳卒中の発生率などについて検討を行い、慢性肝疾患におけるこれらのリスク因子を明らかにし、リスク保因者の囲い込み、健康管理の強化を行います。

研究の方法と期間

・対象となる患者様について

京都府立医科大学附属北部医療センター消化器内科で慢性肝疾患の治療を受けられた患者様が対象となります。

・方法について

慢性肝疾患に対し治療を受けられた患者さまを対象に、肝機能の変化やMRIやCT検査などの画像検査により肝細胞癌発がんの有無、心筋梗塞など動脈硬化性疾患リスクの拾い上げなど日常診察から得られる臨床データを収集させていただきます。また受診時に採血した残りの血液検体を用いて、肝臓の線維化や動脈硬化のマーカーである LOX-1 について測定を行います。また肝生検を実施された場合には、肝生検の肝組織を用いさせていただきます。

・期間について

本研究の期間は、承認日より平成38年3月31日までです。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

本研究は、京都府立医科大学医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先

京都府立医科大学附属北部医療センター

職・氏名 助教・石破 博

電話：0772-46-3371